

令和3年度

事務事業評価表(令和2年度の実績評価)

記入年月日
令和2年4月21日

事務事業名		小貝川東部流域下水道維持管理参画事業			事業区分		担当	
					新規/継続	継続	事務事業No.	050503000126
		政策体系上の位置付け			単独/補助	単独	所属課	070101
政策体系	総合計画の施策名	0505	下水道の整備				課長名	下水道課
	政策名	05	快適な暮らしのまちづくり				グループ	下水道G
	施策名	05	下水道の整備				担当者名	
	手段名	03	③安定した経営					
		財務会計上の位置付け			事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業細			
法令根拠					単年度繰返し(平成17年度~)			
					期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
手 段	①事務事業の概要(事務事業の全体像) 平成14年度の県と小貝川東部流域下水道協議会との取り決めにより、平成15年度から維持管理は県が行い、維持管理費用を市町が負担するとされた。当初15年間は、構成市町の計画汚水量により負担金を算出することとされた。しかし、計画汚水量と実汚水量との差が広がり、市の負担額は増加傾向であり、実態に伴う見直しが必要であると、平成26年度に維持管理負担金の削減を要望した。 平成27年度中に協議し、平成28年度から基本負担額と流量の変動による使用負担額を合わせた二部負担制によって負担金額を定めることに改善された。また、5年ごとに単価の見直しを図ることになった。
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 維持管理負担金の支払い

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段(担当者の活動内容)		④活動指標(活動量を表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
維持管理負担金の支払い		負担金の額	千円	115,505.00	119,023.00	125,021.00	1,260,855.00	1,271,706.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象(誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
県管理の汚水処理場と流域下水道幹線の維持管理費用に対する流域構成市		構成市町村数	市町村	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図(この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
小貝川東部流域下水道事業による汚水処理場と下水道幹線の維持管理		桜川市の実汚水量	立方メートル	329,466.00	330,009.00	360,872.00	368,089.00	375,451.00
		桜川市の計画汚水量	立方メートル	1,189,000.00	1,189,000.00	1,189,000.00	1,189,000.00	1,189,000.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

		01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	期間限定 総投入量	
投 入 量	事業費内訳	国庫支出金	千円 0	0	0	0
		県支出金	千円 0	0	0	0
		地方債	千円 0	0	0	0
		使用料・手数料	千円 74,321	80,867	80,867	0
		その他	千円 0	0	0	0
		一般財源	千円 45,988	38,453	44,451	0
		事業費計(A)	千円 120,309	119,320	125,318	0
	正規職員従事人数	人 2.00人	2.00人	2.00人		

02年度事業費実績(千円)			03年度事業費予算(千円)		
12 委託料	297		12 委託料	297	
18 負担金補助及び交付金	119,023		18 負担金補助及び交付金	125,021	
合計			合計	119,320	125,318

事務事業名	小貝川東部流域下水道維持管理参画事業	事務事業No.	50503000126	所属課	下水道課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
平成15年度に小貝川東部流域下水道が一部供用開始した時から、流域の構成市町村から県に対して、各市町村の計画汚水量に応じて維持管理負担金を毎年負担している。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
特になし。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 公共下水道の浄化センターの維持管理を行っている県へ市から負担金を支出することは、施策「下水道の整備」に結びつく。
有効性	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 汚水浄化のために浄化センターでの処理が必要であり、そのために維持管理を行っている県へ市から負担金を支出することは当然である。
効率性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない 県事業に対する負担金支出のため、成果を向上させる余地がない。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 県への負担金支出をやめた場合、汚水処理は市独自で行わなければならない。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
	<input type="checkbox"/> 余地がない 現在の小貝川東部流域下水道の仕組みの中では、他に方法はない。
	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 平成28年度に流量の変動によって負担金額を定めることに改善された。また、5年ごとに単価の見直しを図ることになった。今後の運営状況等を把握しながら、繰越金が多くなる状況が見込めれば、再度交渉により負担金の削減を求めていく。
	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 下水道使用者の下水道にかかる流量等により負担が伴うものであり、公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	県への維持管理負担金については、基本負担額と流量の変動による使用負担額を合わせた二部負担制に改善された。正確な流量を計測し適正な負担金を算出する。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×	×	×
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	×																	
		×	×	×																	
		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果	⑦																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>